

村田裕之 講演

< 電通シニア大航海学会 基調講演 >

What's Next - 2007年以降の団塊・シニアビジネスはどうなるか？

団塊世代の退職＋高齢化進展から大独身時代の到来、アンチエイジングからエイジングフレンドリーへの商品の転換など2007年以降の中高年市場を予想。日本は高齢社会のフロントランナー、シニアビジネスで世界をリードできるという持論をお話しました。

(2006年9月15日)

(参加者の声)

- ・ いわゆる「2007年問題」への誤解、内容の変化による解放型消費、等々従来にない切り口でのシニアビジネスへのアプローチが事例を交えて明快に説かれたこと。結果として、翌日村田氏の著書を買って求め、より深い理解を得たい欲求に駆られた。
- ・ シニア市場について、深い洞察をされていることがよくわかった。2007年問題の本当の意味や、今後ねらうべきモノやサービスの示唆など、面白いお話が聞けた。著書などを参考にさせていただき、自分たちの仕事の参考にさせていただく。
- ・ 2007年の諸問題に対する見解が非常に分かりやすく説明いただけた。今後のビジネスチャンスに向けて大変参考になりました。
- ・ 2007年問題に関する見解を一般と異なる村田先生のお考えが具体的かつ論理的に理解できたので。
- ・ 全体のボリュームが大きい団塊世代に対して安易に一律のビジネスが効果を出せるか私自身疑問に感じていました。今回の村田先生のわかりやすい分析で整理ができ、納得させられました。
- ・ 2007年問題に翻弄されているが、村田先生の見解に共感した。
- ・ 具体的なビジネスの成功事例の詳細と、村田氏独自の団塊ビジネス論が聞けたため。
- ・ 団塊世代の行動変化および志向を良く捉えて説得力のある講演だった。分析の仕方・説明が明確で面白い。
- ・ 2007年問題の切り口が一般と異なり明快であった。
- ・ 2007年問題の本当の意味が理解できました。ただ単に消費が膨らむのではなく、「状態の変化」で消費活動をおこし、心理的变化による解放に向かうエネルギーから、消費が生まれやすくなるということが理解できました。
- ・ 「2007年問題」は一気に顕在化するのではなく、じわじわやって来るというご指摘や、脳の変化に着目した認知心理学的な切り口が印象に残りました。
- ・ まったくもって的確を射た解説であったと痛感します。
- ・ 事例等知らないことも多く、他業界の取り組みを知って感心した。1現象でなく、その

- 取り巻く環境全てからビジネスのチャンスはあるのだとあらためて感じました。
- ・ 2007年問題の誤解や事例など、一歩踏み込んだ内容で大変参考になりました。
 - ・ 浮き足立った2007年問題を冷静に考え直すきっかけとなった。
 - ・ 2007年への「危機感」のようなものを抱いていたのですが、ガラリと世の中が変わるというようなことはなく、まだ様々な試みができる時間があることを感じました。また逆に、何か可能性を感じます。
 - ・ 団塊の世代のニーズが多種多様といわれますが、その背景をご説明いただき納得いたしました。
 - ・ 団塊世代といっても、結構考え方に幅がある世代ですから、画一的な方向はない、と思っておりました。お話の内容もそんな内容だったので納得しました。
 - ・ 団塊世代はマスマーケットではないという話と、既に退職者は早期退職という形で出ているという点で、今までの概念と違うことが理解できた。
 - ・ シニアビジネスの成功例を挙げていただき、講演がより具体的なものだったため。
 - ・ 2007年以降の団塊シニアビジネスは、特別のものではなく、既に始まっているとの認識がなく、大変勉強になった。
 - ・ 話が大変分かりやすく面白かった。事例も分かりやすい。カレッジリンク型シニア住宅の話は、新しいビジネスの形として興味があります。
 - ・ 広い視野から見た団塊問題が参考になりました。事例のカレッジリンク型シニア住宅の話が面白かったです。
 - ・ 団塊世代には非常に注目していたので、ミニマムな集合体であるがゆえの消費形態が多様である市場の状況分析はとても参考になりました。この視点からのターゲティングもとても大切かと思いました。
 - ・ 2007年問題の本質と、団塊世代の行動パターンが理解できたから。
 - ・ シニアビジネスの新しい潮流を知ることができた。
 - ・ 講演内容がテンポ良くまとめられており、それに沿った説明も分かりやすく時には事例を入れての説明で大変良く理解できた。特にカレッジリンク型シニア住宅の例などはよかったです。自分でも確かめてみたいと思います。
 - ・ 団塊ビジネス市場への参入も、これからはニッチな部分を狙わなければいけないほど醸成が進んでいるということがよく解ったので。
 - ・ 2007年問題に関する考え方の整理ができた。参考事例が大変興味深かった。
 - ・ 言われている2007年問題についての説明がわかりやすかった。またケーススタディも参考になった。
 - ・ 様々な団塊論がある中で、団塊問題はすでに始まっているという意見は説得力があった。また、解放型ビジネスの展開をすれぱうまくいく可能性があるというヒントも参考になった。
 - ・ 過去に伺ったことのあるテーマの「その後」を知ることができたから。